

# 円/米ドル相場の動きに注目！

## ～過去の動きから見る注目の価格

これまで、投資家のリスク回避傾向から他通貨に対し円が買われやすい状況が続いていましたが、足元では、日本の政局混迷や他国との景気対策のスピード格差を背景に、他通貨に対し弱含みの展開となっています。市場では円安予想も増え始めているようですが、円高観測も根強いことから、為替相場の方向性は掴みにくい状態にあるといえるでしょう。

下図は、円/米ドル相場と同26週移動平均線の推移です。過去の推移をみると、円/米ドル相場が、「移動平均線の上部で推移しているときには、移動平均線が円の下値支え役で円が堅調(高い)傾向」に、「移動平均線の下部で推移しているときには、移動平均線が円の上値抑え役で円が軟調(低い)傾向」になっています。

このような動きを参考にするのであれば、現在の26週移動平均線(96.72円、2/18現在)は、円相場の方向性を占う意味で注目できるものと思われま。

なお、為替相場は前述の政局や両国間の景気動向などによって大きく変動しますが、過去の動きを見て投資を行なう投資家は、移動平均線に注目しているようです。

### 円/米ドル相場と同26週移動平均線の推移

(2004年1月5日～2009年2月18日)

(1米ドル=円)

※図中の○は、円の上値抑えの、○は円の下値支えの傾向を示した一例です



※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

日興アセットマネジメント

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。■ 当資料で使用している各指数の著作権等の知的財産権、その他一切の権利は各指数の算出元または公表元に帰属します。